

米日教育交流協議会代表 丹羽筆人

在米親子にアドバイス

日米の教育事情

～帰国生入試の出願書類のための準備

年の瀬

は、帰国生
 大学入試で
 はすでに大
 半の入試が
 終了してお
 り、国立難
 関大を中心
 とした一部
 の入試を残
 すのみとな
 っています。
 一方、
 年が明ける
 と中学・高

校入試の受験シーズンが到来しま
 す。帰国生入試では年内に入試を行
 う学校もありますが、多くの学校は
 1～2月に入試を行います。そのた
 め年末年始は出願書類の準備や受験
 勉強の仕上げなどに大忙しとなりま
 す。ここでは、帰国生中学・高校入
 試の出願書類とそれらの準備につい
 てご説明しましょう。

成績証明書は、どの学校にも共通
 して必要な出願書類です。現地校の
 成績証明書は、国内生や日本人学校

現地校の成績で英語力、補習校 の成績で日本語力が判断される

生の調査書・内申書に相当します
 が、国や州、学区などによってさ
 まざまな書式や基準があり、国内生
 や日本人学校生のように点数化して
 合否判定に使用されることはあまり
 ありません。現地校での在籍期間や
 どんな科目を履修したのかを見る程
 度です。したがって、GPA（評定
 平均値）はあまり気にしなくてもよ
 いでしょう。ただし、現地校の成績
 証明書は面接のための参考資料とな
 る場合があり、成績の良い科目とそ
 うでない科目について、その理由な
 どを質問されることを覚悟しておく
 必要があります。

また、英語圏からの帰国生の場合
 は、英語力の高さを期待されること
 も多く、現地校の成績がその判断材
 料となる場合もあります。一方、英
 語力を証明するために英検の合格証
 明やTOEFL、TOEICなどの
 スコア証明の提出を要求する学校も
 ありますが、そうでない学校でも、
 これらの証明書を提出することで英
 語力をアピールできます。受験時期
 までに計画的にこれらのテストを受
 験し、合格やスコアアップを図るこ

とをお勧めします。

次に、推薦書はすべての学校で要
 求されるわけではありません。推薦
 書が必要な場合には、現地校や日本
 人学校での学習状況のみではなく課
 外活動にも力を入れる必要がありま
 す。このような学校は学業成績以外
 にも優れている生徒を獲得したいと
 考えているからです。スポーツや音
 楽、美術、そしてボランティアなど
 に取り組むことをお勧めします。

一方で、補習校の成績証明書や推
 薦書の提出を求める学校は多くはあ
 りません。ただし、提出した場合は
 は参考資料として利用される機会に
 あります。そこでは日本語での学力
 や学習意欲、日本の学校での適応力
 などを評価してもらえましょう。
 したがって、補習校での学習にも熱
 心に取り組むことが大切です。

このほかにも、海外在留期間証明
 書やパスポートのコピーなどを求め
 る学校もあります。なお、出願書類
 に関する詳細は、必ず志望校の募集
 要項をご確認ください。

（次回は1月28日号掲載）